

第 57 回番組審議委員会議事録

1. 開催年月日 令和 4 年 3 月 23 日(水)午後 10 : 30～11 : 30

2. 開催場所 和歌山県田辺市宝来町 8-21 泉ビル 2 階

3. 委員の出席 委員総数 6 名 出席委員 4 名

出席委員の氏名 野村悠一郎、小倉拓、安達克典、吉田光利

欠席委員の氏名 森下憲一、橘智史

放送事業者側出席者氏名 泉清、濱田由希子、大崎健志

リモート参加：安田豊、生田奈穂

欠席者氏名 洞周作、角田圭三

議題 1) 局側挨拶（現状報告）

2) 議題

☐番組聴取

2 月 13 日(日)放送の「こいからどこ行く日曜日」で放送した、芳養
小学校 6 年生横山るいさんの人権作文朗読とゲスト出演時のインタ
ビュー、3 月 7 日(月)からスタートした「弁慶記」の第一話ダイジ
ェストを聴取、ご意見・ご感想

3) その他番組への質問・意見

4) 今後の放送に対する意見・要望

5) その他

局側挨拶・報告

1. 局側挨拶

泉：今回初めましてということで吉田さんよろしくお願ひいたします。より良い番組を作るということで審議委員の皆様にご聴取いただいておりますので、忌憚のないご意見いただけると嬉しいです。

前回開催の 1 月から二か月経ちましたが、今うちが局をあげて取り組んでおります弁慶記の準備やスポンサー集めなどを行ってきました。もちろん今も制作しながら進んでいるところではありますが、そういったところで走り回っているのがこの 1 月 2 月でした。そんな中で第六波蔓延で、この辺りもちょっと良くなるのかなと思ひながらも残念な状態であります。しかし春から元気になるような気配でラジオも頑張っていきたいなと思っております。

2. 議題

～番組聴取～

濱田：まずは 2 月 13 日(日)放送の「こいからどこ行く日曜日」で放送した、芳養小学校 6 年生横山るいさんの人権作文朗読とゲスト出

演時のインタビューにつきましてご意見いただけますでしょうか。

野村：小学校 6 年生とはとても思えない素晴らしい内容ですね。保護司会の会長さんもお出演されていましたが、以前意見したことがありました。こんな作文コンクールがあると知らなかったと。税の作文はよく知っていたのですが人権の作文があることを皆知っているのかと。せっかくの活動なのでもっとしっかり広報するべきだと思っていたので、このような形で聴く事が出来て良かったです。

濱田：保護司会会長の岩本さんも、今後ラジオを通して発信していきたいとおっしゃっていました。

小倉：内容はすごく良かったです。この「こいからどこいく日曜日」というのはどんな番組なのですか？

泉：いろんな話題を日曜日の朝 10 時からお昼 1 時まで、その週に行った出来事だったり日曜日なのでその日行われている事の発信をしたりしています。

小倉：イメージ的にタイトルとやってる放送の内容が違うのではないかと感じました。

泉：いろんな事ができる番組にしています。生放送なので何が飛び込んでくるか分かりませんし。今回で言いますと小学生なので土日

にしか出演出来ないという事もありました。

小倉：どこからこの情報を入手されたのですか？

濱田：昨年保護司会の方から、桂枝曾丸さんが中心となっていて行っている「社会を明るくする運動」の一環で高校生の番組とコラボした事がきっかけで繋がりが出来まして、今回地元の小学生が受賞されたとうお話を伺ってご出演いただく事となりました。

野村：問題定義したことが生きてきたということで良かったです。

小倉：こういう情報ってなかなか入手しづらいから知らない人も多いので、このように紹介出来るのは良いと思います。

泉：本人の朗読で作文を読むというのは地域の人も耳だって聴いてくれますし、もっとラジオを通じて出来るのかなと感じております。

安達：作文の内容はもちろんですが、朗読も物凄く上手でしたね。地元の市会議員さんがすぐ動いてくれるというような内容もあって、その方も嬉しいでしょうね。将来が楽しみです。

吉田：皆さんとを感じる事は同じですが、作文の内容も読み方も放送での受け答えも素晴らしいなと感じました。わたしたちと世代も違いますので、このような活動や情報を耳にすることが重要だし広めていけたら良いなと思いました。

安田：今回テーマになっている人権というのは今全国的にも重要視されていて、和歌山県の法務局からも依頼があって人権に関するコマーシャル放送をさせていただいております。和歌山市にベースがあるのですがコロナ禍で実際のリアルの活動がなかなか出来ないということもあって、ラジオを活用していきたいという話がありました。人権、ヒューマンライツ、最近非常に注目を浴びてきていますし田辺でも同様だと思います。そういう中で横山るいさんの作文、素晴らしいと思いましたし、大人との協力といいますか地域と学校と家庭とのコラボというような内容もありましたが、そういうような事がもっともっと進むようなサポートを **FM TANABE** としても出来たらいいなと思っております。

濱田：続きましては、3月7日(月)からスタートした「弁慶記」の第一話のダイジェストをお聴きいただいたご意見をお願いいたします。

野村：初めての試みでしょうが、非常に良い駆け出しだと思っております。

小倉：効果音にジャジーな演出がされていたり、日本的じゃない音を使われていたりとか新しいと感じました。あと、釣鐘が1ミリ浮いたという表現がありましたが、ミリなんや〜と。普通尺とか寸だけど

それだと分からない人もいるだろうから、昔っぽさを出して日本的なもので固めるのか、あえて新しい西洋の音楽を入れたり単位を使うのは若干気になるけどありなのかなと感じました。あと、1話でもう滋賀に行ってるということは60話までの配分がどうなっているのか気になりました。

濱田：物語が進んだ後、過去を振り返るシーンなんかもありますので。

小倉：なるほど。織り交ぜつつって感じなんですね。なかなか時間的に聞けなかったりはするのですが。

泉：放送の1週間後にはYOUTUBEにもアップされますので。

安達：タイミングが良い時期と言いますか、ちょうどNHKの大河にも弁慶が出てますし、全国から聴けますので注目を集めて関心もってもらえたらいいですね。

吉田：語り部さんは和歌山の方、プロの方ですか？

泉：講談風という事で講談師さんは玉田玉山さんという大阪のプロの方です。メインの弁慶や義経も俳優さん声優さんです。あと周りをかためている配役の方々は地域の方々にも協力してもらっています。

吉田：なるほど。語り部さんはプロの方かなと思いながら聞いていました。僕もYOUTUBE追いかけて聴きます。

安田：地元の方にもたくさん出ていただいております。毎回ドラマの最後に出演者の紹介があって、皆さんが知っているような方の名前も出てくるのでそれを楽しみに聴いてくれている人もいます。プロの俳優さん声優さんと比べるとやっぱり素人という感じはするのですが、そのミックスがちょうど良くて親しみを感じてもらえているのではないかなと思っています。この後もまだまだ続きますのでよろしくお願いします。

濱田：弁慶記に関わっていただく出演者の皆様総勢 50 名を超える予定となっています。プロの役者さん以外の地域の皆様にもご出演いただきますので基本的には演技は初めてという方がたくさんいられますが、大崎の指導のもと皆さんこのような仕上がりになっております。

大崎：役者だけではなくて音楽もオリジナルで作ってまして、田辺シティブラスさんや紀南オーケストラの方など地域の皆様にもご協力いただき、音楽家の方が作ったものに田辺の方が吹いたトランペットやサックスなどの音を入れ込んでメインテーマを作っています。今後、田辺の中学校の吹奏楽部からも数名協力いただいて音が増々厚みが出てくるという予定になっています。

泉：コロナの影響でスケジュールがずれながら思うように進まない部分もありましたがようやく追いついてきたかなというところです。

小倉：オフショットとかも見たくなりますね。地元の人たちが録音している風景とか NG 集とか、学生が演奏している姿とかを YOUTUBE で見れたら面白そうですね。ラジオの持つ特性とは違うので映像を見せるのが良いのか分かりませんが、地元感・みんなが集まっている感が見れたらいいなと思いました。

濱田：メイキングみたいなのは是非作っていききたいなと思います。ちなみに来月の商工会に出す弊社の広告なのですが、講談師の玉田玉山さんだったり現時点で弁慶記にご協力いただいた出演者の写真を載せようかと思ってますので、また御覧いただけたらと思います。

3.その他番組への質問・意見

安達：以前の番組審議会のなかで和歌山ファイティングバーズの話なんかが出てましたが、今度は女子のホームタウンとしてそこら辺の関わりもあったら良いのかなと。女子も注目されていますし地元の子にも野球に対して思いがあるみたいで、龍神から島根の学校へ進学した方がいるみたいです。男子並みに女子も活躍の場も広がってきているのかなと思っています。

吉田：わたしもこれまでゲスト出演させていただいた事もあるのですが、またいろんな番組にも参加したいと思っていますので協力できることがありましたよろしく願いいたします。

濱田：青年会議所放送部みたいな感じで、番組をもってもらうのとかどうでしょうか？

吉田：そういうのも面白そうですね。月一回とかなら可能かもしれません。

4.今後の放送に対する意見・要望

特になし

5.審議機関の答申または改善意見に対して採った措置及びその年月日

特になし

6.審議機関の答申または意見の概要の公表方法

内容：審議内容について公表

方法：ホームページ掲載 (<http://www.fm885.jp/>)

7.その他参考事項

特になし